

**令和5年度 大台ヶ原の利用に関する協議会
開催概要**

■日 時 令和6年2月29日（木）14:00～16:30

■場 所 橿原商工経済会館 7階 第2会議室／オンライン（Cisco Webex）

■出席者

<大台ヶ原の利用に関する協議会 構成機関>

機関	所属・氏名	出欠
林野庁近畿中国森林管理局	三重森林管理署 地域林政調整官 中島 富太郎	オンライン
	尾鷲森林事務所 地域統括森林官 岡浦 貴富	(ご欠席)
奈良県知事公室地域振興部	奈良県美しい南部東部振興課 課長補佐 松原 永治	オンライン
奈良県水循環・森林・景観環境部	景観自然環境課 係長 成瀬 達哉	オンライン
	景観自然環境課 主任技能員 田垣内 政信	○
奈良県県土マネジメント部	吉野土木事務所 工務第二課 主査 花田 翔太	○
	吉野土木事務所 用地・管理課 課長 光原 昌	○
三重県農林水産部	みどり共生推進課 自然公園班 主査 山本 和史	オンライン
上北山村	企画政策課 主幹 山本 日出夫	○
川上村	水源地課 課長 今福 和男	○
大台町	産業課 主事 加納 匠	オンライン
上北山村議会	経済常任委員長 森脇 郁雄	(ご欠席)
上北山村観光協会	会長 更谷 昌美	(ご欠席)
上北山村商工会	会長 中谷 守孝	(ご欠席)
	経営指導員 金岩 修平	オンライン
一般社団法人奈良県猟友会 上北山支部	-	(ご欠席)
自然を返せ！関西市民連合	代表 田村 義彦	オンライン
奈良県勤労者山岳連盟	自然保護委員長 高橋 まどか	オンライン
奈良県山岳連盟	副会長 柳川 靖夫	オンライン
近畿日本鉄道株式会社	大阪統括部運輸部営業課 主幹 花本 美孝	○
一般社団法人 奈良県タクシー協会	専務理事 葛城 滝男	(ご欠席)

機関	所属・氏名	出欠
奈良交通株式会社	乗合事業部 課長 中谷 真吾	○
公益社団法人日本山岳会関西支部	自然保護委員長 斧田 一陽	○
一般社団法人 森人ネット	理事 京地 秀雄	○
大台ヶ原パークボランティアの会	会長 雲田 糺	○
一般社団法人 心・湯治館	代表理事 城内 勲	(ご欠席)
ワーク21上北山	会長 福嶋 啓一	(ご欠席)
大台・大峯植生談話会	会長 横田 岳人	(ご欠席)
三重県山岳・スポーツクライミング連盟	大台山倶楽部 代表 保田 利博	○
一般社団法人大阪府山岳連盟	常務理事 田中 昭男	○
	自然環境委委員 田中 猛	○
一般社団法人ツーリズムかみきた	事務局長 橋本 誠司	(ご欠席)

<環境省近畿地方環境事務所>

機関	所属・氏名	出欠
近畿地方環境事務所	統括自然保護企画官 八元 綾	○
	国立公園課 課長補佐 平野 淳	○
	自然環境整備課 課長 榎本 和久	オンライン
	自然環境整備課 課長補佐 三島 隆史	オンライン
吉野熊野国立公園管理事務所	所長 加藤 麻理子	オンライン
	国立公園管理官 桑原 大	オンライン
吉野管理官事務所	国立公園管理官 鵜飼 匠太	○
	生態系保全等専門官 丸毛 絵梨香	オンライン
	自然保護官補佐 濱田 菜月	○

<業務委託者>

機関	所属・氏名	出欠
有限会社OM環境計画研究所	代表 大森 淳平	○
	研究員 杉山 拓次	○

<オブザーバー>

機関	所属・氏名	出欠
株式会社KANSOテクノス	樋口 高志 マネージャー	オンライン
	樋口 香代 リーダー	オンライン
大台ヶ原ビジターセンター	福嶋 千草	オンライン
地域観光プロデュースセンター (持続可能な利用WG委員)	吉見 精二 代表	オンライン

■議事等

1. 開会
2. 議事
 - (1) 大台ヶ原の利用動向等に係る報告
 - (2) 令和5年度事業実施結果報告（構成機関からの取組報告含む）
 - (3) 令和6年度西大台利用調整地区の運用計画について【協議】
 - (4) 大台ヶ原周回線道路（歩道）の改修について
 - (5) その他
3. 閉会

■配布資料

- ・議事次第
- ・出席者名簿
- ・資料1－1 大台ヶ原の利用動向に関する調査結果
- ・資料1－2 西大台利用調整地区の利用者意識に関する調査結果
- ・資料1－3 大台ヶ原における適正利用推進上の課題
- ・資料2 令和5年度事業実施結果報告（持続可能な利用の推進）
- ・資料3 令和6年度西大台利用調整地区の運用計画（案）
- ・資料4 大台ヶ原周回線道路（歩道）の改修設計について

- ・参考資料2－1 令和5年度大台ヶ原ガイドウォーク実施結果
- ・参考資料2－2 大台ヶ原登録ガイド向けアンケート結果
- ・参考資料2－3 次年度工事予定等について（吉野土木事務所）
- ・参考資料2－4 令和5年度大杉谷登山道の利用状況等について（大台町）
- ・参考資料3－1 令和6年度利用調整カレンダー
- ・参考資料5－1 大台ヶ原でのツキノワグマの出没状況等について

令和5年度 大台ヶ原の利用に関する協議会 議事概要【公表扱】

(1) 大台ヶ原の利用動向等に係る報告

- ・令和5年度の大台ヶ原及び西大台利用調整地区の利用状況や経年変化、西大台利用調整地区の利用者に対する意見聴取の結果について、事務局より報告した。

◆質問・ご意見

- ・東大台で、昼食後にトイレを利用したい人が多い。携帯トイレブースの設置について、今後の計画はあるか。(奈良県勤労者山岳連盟)
 - コストや管理体制の課題があり現時点では実現できていない。現時点では駐車場でのトイレ利用案内が原則(環境省)
 - 東大台での実証実験において、あまり利用がなかった。尾鷲辻など山の中で排泄されることがあるため、今後対応を考えていく必要はあると思う。(奈良県景観自然環境課)
- ・環境省側で計画を立ててもらえれば、山の会で設置や管理に協力できることはしたい。(奈良県勤労者山岳連盟)

(2) 令和5年度事業実施結果報告(構成機関からの取組報告含む)

- ・令和4年度の大台ヶ原における持続可能な利用の推進に係る事業実施結果について、事務局より報告した。
- ・上北山村より、令和5年度の大台ヶ原の冬季利用の取組みについて報告。
- ・奈良県吉野土木事務所より、吉野熊野国立公園伯母峰大台ヶ原線事業の令和5年度事業報告、及び令和6年度事業予定について説明。
- ・三重県大台町より、令和5年度の大杉谷登山道の利用状況等について報告。
- ・奈良県景観自然環境課より、西大台の吊り橋工事完了について報告。

◆質問・ご意見

- ・質問・意見は特になかった

(3) 令和6年度西大台利用調整地区の運用計画について【協議】

- ・令和6年度西大台利用調整地区の運用計画について事務局より説明があった。本協議会の中で合意を得て、運営計画は原案通りで決定となった。

◆質問・ご意見

- ・自然ふれあいプログラムにおけるササ刈りはどのような方法で実施が計画されているのか。(日本山岳会関西支部)
 - ササ刈りについては、水分環境や光環境を改善するために、トウヒの稚樹や成木があるところから半径1m程度手鎌等で刈り取る方法で実施している。2～3年に1回程度実施することで生育環境が良い状態が保たれるようである。(環境省)
- ・ササは頑丈なので、頻度を上げて実施してはどうか。(日本山岳会関西支部)

→刈り取りすぎると光環境が強くなりすぎたり、風の影響を受けすぎたりすることなどもあり、常にササが全くない状態が良い訳でもないと専門家からご助言をいただいているところで、トウヒの成長状況を見ながら判断をしていきたい。(環境省)

(4) 大台ヶ原周回線道路(歩道)の改修について

- ・大台ヶ原周回線道路(歩道)の改修整備の今後の進め方について、事務局より説明があった。また、現在の補修状況について補足説明があった。

◆質問・ご意見

- ・質問・ご意見は特になかった。

(5) その他

- ・大台ヶ原におけるツキノワグマへの出没状況等について、令和4年度に出没が多発したため、令和5年度の状況についての報告および対応状況について事務局より説明があった。

◆質問・ご意見

- ・令和4年が多発したが、令和5年が大台ヶ原では出没数が減少した。里での出没は増えているのか。(大阪府山岳連盟)
 - 奈良県内のクマ出没件数については、例年とあまり変わらない。(環境省)
 - 上北山村では3頭の捕獲・放獣を実施、その他目撃情報は10件以下である。(上北山村)
- ・万一、大台ヶ原でクマに襲われた際はどのような対応なのか(三重県山岳・スポーツクライミング連盟)
 - 遭難や怪我の場合、ビジターセンターに連絡が入れば職員が駆けつける。その場の状況で判断して、一刻を争う場合はドクターヘリや救急車の手配などの対応を行う。(奈良県景観自然環境課)

◆その他の意見等

- ・今年度の大台ヶ原自然再生委員会を3月5日に奈良公園の春日野国際フォーラムで開催する。(環境省)
- ・令和6年度のガイド講習会は令和6年12月20日(金)で考えている。この時期は避けた方がよい等の情報があれば、3月7日までにご連絡いただきたい。(環境省)
- ・2018年に崩落した歩道の修復作業を行った。また、日出ヶ岳山頂にある三角点付近の積み石を撤去した。(大台ヶ原パークボランティアの会)
- ・西大台の仮設の携帯トイレブースを設置していて、概ね利用者全体の9~13%程度が利用していると思われる。簡易トイレが老朽化しているため、今後の検討が必要。(一般社団法人 森人ネット)
- ・バスの運行は令和6年4月21日(日)~11月24日(日)を予定。2月1日に全路線で運賃改正が行われ、大台ヶ原線も運賃が上がる。来訪者アンケートによると、1位が大阪で20%程度と最も多く、奈良県、兵庫県と続く一方で、首都圏からの来訪は17%となっている。全国展開のアウトドアブランドの各店舗に周知のチラシを配架している。近鉄との連携きっぷは今年度も実施予定である。(奈良交通株式会社)

- ・川上村は入口部分なので、注意喚起や啓発など協力できることはしたい。(川上村)
- ・登録ガイド限定プログラムや環境教育、学校への働きかけなどが、地元の方々と連携した取り組みになると良い。ガイドの質を向上させて、環境省とプロモーションを行ったり、教育利用などでオフシーズンや平日等の需要喚起を進ませたりして、全体の利用者数を上げていけると良い。多くの人に利用されてこそ、大台ヶ原の存在価値がある。将来的に入山料を徴収して、必要なことに還元し、見学しやすい大台ヶ原をつくっていくことが望まれる。(持続可能な利用 WG 吉見委員)